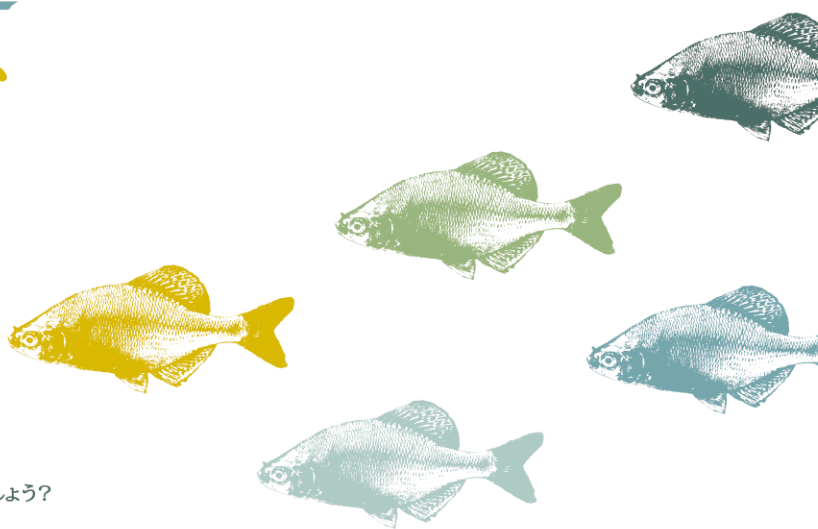




伊豆沼のガガフタ群落

# 身近な 水辺の 生き物 を守る



ゲンゴロウやタガメ、イモリやカエル、メダカやタナゴなど  
かつては身近にいた水辺の生き物の多くが数を減らしています。  
なぜ数を減らしているのでしょうか？ 守っていくにはどうすればよいのでしょうか？

都立動物園・水族園合同企画 連続講演会第2回

事前申込制  
参加費無料

80名  
高校生以上

東京都葛西臨海水族園  
本館2階 レクチャールーム

2018|03|18 日  
13:30 ▶ 16:00



# 身近な水辺の生き物を守る



ハス



ニホンアカガエル



ゼニタナゴ



オオセシジトトンボ

講演 I

## めだかの困惑 ～「東京めだか」を通じた保全活動～ / 河原 直明 (葛西臨海水族園 飼育展示課 調査係)

講演 2

## ゼニタナゴのいる水辺を守りたい! ～伊豆沼・内沼ゼニタナゴ復元プロジェクト～

/ 藤本 泰文 (公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 研究員)



ゼニタナゴという魚を知っていますか? 貝に卵を産む小さな魚です。各地で姿を消し、今では日本の数カ所にしか生息していない希少な魚です。その最大の生息地であった伊豆沼でも、ブラックバスによる食害で 90 年代に姿を消してしまいました。この希少種の復活を目指して、バス駆除活動が長年行われてきました。多くの方の協力により、少しずつ自然が戻る中、ついにゼニタナゴが伊豆沼で再発見されました。一度壊れた自然を取り戻すには、やはり長い時間とたくさんの努力、科学的な検証が必要で、それでも予想外の反応は自然は示します。豊かな水辺を守るために、私たちはどうすべきか。東北での活動を例に皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

【プロフィール】1975 年東京生まれ、多摩川育ち。小学生の時、夏休みの自由研究で金魚の行動観察を行う。将来の夢を科学者と書いて 30 年、北里大学水産学部で博士号を取得後も、魚の研究を続ける。現在、(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団研究員。日本魚類学会では自然保護委員を務める。好きな魚はもちろんゼニタナゴ。でも、ギバチのキュートな姿にも心を奪われている。共著に『よみがえる魚たち』、『田圃の魚をとりもどせ!!』(恒星社厚生閣)など。

応募方法

Eメールで以下のとおりお申し込みください。mizube@tokyo-zoo.net 宛に、件名を「水辺講演会」とし、本文に参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢、代表者の住所・電話番号を記入してお送りください。お申し込みの際は、@tokyo-zoo.net からのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。  
※応募者多数の場合は抽選とし、当落にかかわらずお知らせします。

▶ 2018 年 3 月 10 日 (土) 送信分まで有効。



本講演会の開催時間中、0 歳～就学前までのお子様の託児サービスを実施します。詳細はホームページにてご確認ください。

更に

## 連続講演会「身近な水辺の生き物を守る」第 I 回も応募受付中

▶ 2018 年 3 月 4 日 (日) 井の頭自然文化園にて開催。お申込みは 2018 年 2 月 22 日 (木) まで。

詳細は、井の頭自然文化園のホームページをご覧ください。

## 東京都葛西臨海水族園

TOKYO SEA LIFE PARK

- 開園時間: 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入園は 4 時まで)
- 休園日: 毎週水曜日 (祝日や都民の日に当たるときは翌日)
- 入園料: 一般 700 円 65 歳以上 350 円 中学生 250 円  
※小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料
- お問い合わせ: 東京都江戸川区臨海町 6-2-3  
03-3869-5152
- H P : <http://www.tokyo-zoo.net/>
- twitter : @KasaiSuizokuen



多くの水鳥が越冬のため伊豆沼、内沼に訪れます